

# 鈴鹿工業高等専門学校



風力発電機 (文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」に採択)

## SNCT GUIDE 2009(H21)

### 基本理念

#### 教育理念

- (1) 広い視野から価値判断ができ、技術者精神を備えた豊かな人間性を涵養します。
- (2) 科学技術に関する高い専門知識と技術に基づく深い洞察力と実践力を育成します。
- (3) 未知の問題に果敢に挑み、新たな価値を創造する力を育てます。
- (4) 心身を鍛え、己を確立し、自ら未来を切り拓く力を育てます。

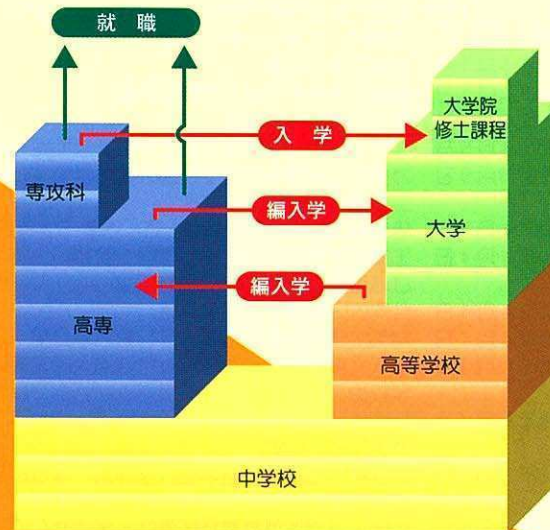
#### 養成すべき人材像

- (1) 生涯にわたり継続的に学修し、広い視野と豊かな人間性をもった人材を養成します。
- (2) 高い専門知識と技術を有し、深い洞察力と実践力を備えた人材を養成します。
- (3) 課題探求能力と問題解決能力を身につけた創造性豊かな人材を養成します。
- (4) コミュニケーション能力に優れ、国際性を備えた人材を養成します。

### 求められる入学志願者像

- ・自然科学に興味をもち、将来の科学技術の発展に夢を抱く人
- ・自らの向上をめざして継続的に自己学習ができる人
- ・何事にも積極的に挑戦できる意思と意欲のある人

### 高専制度



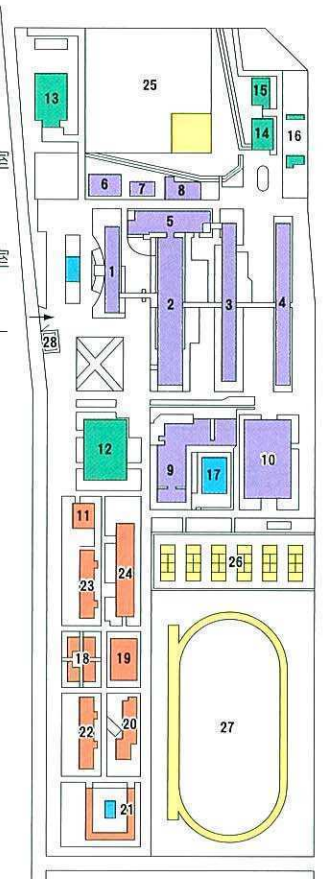
### アクセス

近鉄名古屋線白子駅下車。白子駅西口から三重交通バス平田町行き・鈴鹿サーキット行きに乗車約10分。東旭が丘3丁目まで下車。バス停から徒歩約10分。



### 校内地図

- 1 管理棟 (総務課・教育研究支援室・教養教育科)
- 2 生物応用化学科・教室
- 3 電気電子工学科・材料工学科
- 4 機械工学科
- 5 電子情報工学科・教室
- 6 専攻科
- 7 材料分析室
- 8 共同研究推進センター
- 9 マルチメディア棟 (学生課・図書館・情報処理センター)
- 10 実習センター
- 11 青峰会館
- 12 第1体育館
- 13 第2体育館
- 14 剣道場 (修道館)
- 15 柔道場 (弘道館)
- 16 弓道場 (志誠館)
- 17 プール
- 18 寮管理部
- 19 寮食堂
- 20 青峰寮A
- 21 第1青峰寮
- 22 第2青峰寮
- 23 第3青峰寮
- 24 第4青峰寮
- 25 野球場
- 26 テニスコート
- 27 陸上競技場
- 28 守衛室



## 専攻科教育

JABEEの認定基準に準拠した複合型生産システム工学分野で技術革新を担うことができる高度で幅広い専門知識を習得させるとともに、研究開発能力、課題探求・問題解決能力、技術者倫理を含む総合的判断力、英語によるコミュニケーション能力の育成を図り、技術開発の場で新たな価値を創造する力を育てます。また、修了生は大学卒業と同等の学位（学士）を修得します。

### 電子機械工学専攻

機械工学、電気電子工学、電子情報工学等の学科出身者を対象として、機械・生産システム、メカトロニクス、計測制御技術、エレクトロニクス、情報技術などの分野で技術革新を担うことができる高い専門知識を習得させるとともに、研究開発能力を養います。

### 応用物質工学専攻

生物応用化学、材料工学等の学科出身者を対象として、ファインケミストリー、バイオテクノロジー、材料プロセス、環境保全・リサイクル技術、及び機能性新素材などの分野で技術革新を担うことができる高い専門知識を習得させるとともに、研究開発能力を養います。



## 世界水準を保証する 技術者教育プログラムの推進

「複合型生産システム工学」教育プログラムは、学科4・5年及び専攻科1・2年の4年間で学習する工学（融合複合・新領域）関連分野の技術者教育プログラムです。高専教育の特徴である早期7年一貫教育により、主となる専門分野（機械、電気・電子・情報、化学・生物、材料）の知識に加えて、中京地区の伝統的特徴である素材から工業製品に至る“ものづくり”に必要な生産システムに関する工学基礎知識、豊富な実験技術、および新たな価値を創り出すことが出来る能力を身に付けた国際的に活躍できる実践的技術者の育成を目指します。

このプログラムは、平成16年5月に日本技術者教育認定機構（JABEE）から正式認定を受け、技術社会が求める水準と質を十分満たしているとの評価を受けました。

## 学科教育

5年一貫の教養教育及び実践的工学教育により、創造性豊かな実践的技術者として将来活躍するための基礎的な知識と技術及び生涯にわたり学習する力を身に付けた人材を育てます。



### 機械工学科

機械工学に関する理論と専門知識（材料と構造、運動と振動、エネルギーと流れ、情報と計測・制御、設計と生産、機械とシステム等）、並びに関連する実験技術を習得させるとともに、応用・展開力、創造性を養います。

### 電気電子工学科

電気電子工学に関する理論と知識（電気磁気学、電気回路、電気機器、電気電子制御、電子デバイス、情報通信基礎等）及び科目選択に基づく専門知識（電気エネルギー系科目又は情報通信系応用科目）並びに豊富な実験技術を習得させるとともに、創造性を養います。

### 電子情報工学科

電子情報工学に関する理論と知識（電気磁気学、電気回路論、電子回路、ソフトウェア工学、計算機アーキテクチャ、情報通信ネットワーク等）及びハードウェアとソフトウェアの融合化技術に関する知識並びに豊富な実験技術を習得させるとともに、創造性を養います。

### 生物応用化学科

化学に関する理論と知識（物理化学系科目、無機化学系科目、有機化学系科目、分析化学系科目、生物化学系科目等）及び応用化学、生物化学いずれかの選択に基づくコース別専門知識（工業化学系科目、化学工学系科目、環境工学系科目、細胞工学系科目、遺伝子工学系科目等）並びに豊富な実験技術を習得させるとともに、創造性を養います。

### 材料工学科

材料工学に関する理論と知識（材料の物理と化学、材料の構造・物性・機能、製造プロセス、材料設計等）及び豊富な実験技術を習得させるとともに、それらを用いて材料に関連する諸問題を解決できる創造性を養います。

海ある 東方

さし来る 光に

さし来る 光に

かがやくよ 若人われら

かがやくよ 学問の道

～鈴鹿工業高等専門学校 校歌より～

発行 平成21年6月  
独立行政法人国立高等専門学校機構  
鈴鹿工業高等専門学校  
〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町  
TEL : 059-386-1031 (代表)  
FAX : 059-387-0338  
<http://www.suzuka-ct.ac.jp/>

## 教育活動等

### 国際交流

学術交流協定を締結しているオハイオ州立大学（アメリカ）、ジョージアン技術大学（カナダ）及び常州信息職業技術学院（中国）と交流を深めています。平成20年度は、オハイオ州立大学への学生派遣、ジョージアン技術大学への語学研修を実施しました。

さらに、マレーシア、モンゴルをはじめ4カ国の留学生を受入れ、国際交流の進展にも寄与しています。



### 学生の活躍（平成20年度）

高専ロボコン東海北陸地区大会  
プログラミングコンテスト  
ソーラーカーレース鈴鹿  
全国高専体育大会

デザイン賞・特別賞  
特別賞（競技部門）  
チャレンジクラス8位  
優勝（陸上、剣道、水泳）  
準優勝（バスケ、テニス、柔道）  
優勝（陸上）  
準優勝（個人戦）

国民体育大会  
全国高専将棋大会



### 学生数（平成21年5月1日現在）

学科	定員	1年	2年	3年	4年	5年	計
機械工学科	40	45	44	47	45	39	220
電気電子工学科	40	44	41	47	45	35	212
電子情報工学科	40	44	45	52	42	33	216
生物応用化学科	40	44	43	44	47	36	214
材料工学科	40	44	46	49	40	37	216
合計	200	221	219	239	219	180	1,078

専攻科	定員	1年	2年	計
電子機械工学専攻	12	19	15	34
応用物質工学専攻	8	7	15	22
合計	20	26	30	56

### 卒業後の主な進路（平成20年度）

#### ○進学

学科

- ・本校専攻科 24名
- ・大学編入学 81名  
京都大学、大阪大学、名古屋大学、神戸大学、東北大学、東京農工大学、京都工芸繊維大学、奈良女子大学、筑波大学、岡山大学、三重大学、岐阜大学、福井大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、立命館大学 他

#### 専攻科

- ・大学院入学 5名  
名古屋大学大学院、東京工業大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、三重大学大学院、豊橋技術科学大学大学院

#### ○就職

学科 103名

旭化成(株)、(株)INAX、花王(株)、関西電力(株)、サントリー(株)、JSR(株)、大日本住友製薬(株)、武田薬品工業(株)、中部電力(株)、東海旅客鉄道(株)、ブラザー工業(株)、パナソニック電工(株)、三菱化学(株)、ロート製薬(株)、カゴメ(株)、京セラ、豊田中央研究所、西日本電信電話(株)、本田技研工業(株)、三菱重工業(株) 他

専攻科 18名

(株)INAX、JSR(株)、日東電工(株)、(株)富士通、ソニーエムシーエス(株)、本田技研工業(株)、パナソニック電工(株) 他

## 沿革

- 昭和37年4月1日 鈴鹿工業高等専門学校の設置（機械工学科、電気工学科、工業化学科の3学科で発足）
- 昭和41年4月1日 金属工学科設置
- 昭和61年4月1日 金属工学科を材料工学科に改組
- 平成元年4月1日 電子情報工学科設置
- 平成2年6月5日 オハイオ州立大学工学部と学術交流協定締結
- 平成3年10月9日 カナダ・ジョージアン技術大学と学術文化交流協定締結
- 平成5年4月1日 専攻科(電子機械工学専攻、応用物質工学専攻)設置
- 平成9年4月1日 工業化学科を生物応用化学科に改組、生物化学及び応用化学の2コース制を開設
- 平成14年4月1日 共同研究推進センター発足
- 平成15年4月1日 電気工学科を電気電子工学科に名称変更
- 平成16年4月1日 国（文部科学省）から独立行政法人国立高等専門学校機構へ移管
- 平成16年5月10日 技術者教育プログラム「複合型生産システム工学」がJABEEから認定
- 平成18年3月20日 高等専門学校評価基準を大学評価・学位授与機構から認証
- 平成18年4月18日 中国・常州信息職業技術学院と学術文化交流協定締結

## 施設紹介

### 図書館

所蔵図書は、約10万冊あり、専門図書に限らず一般図書も多数所蔵しています。

また、一般の方々に生涯学習の場として開放しています。

開館日 平日 9時～22時  
土曜日 9時～17時

休館日 日曜、祝日

（学生イベント、夏季休業期間等で休館日、時間の変更がありますので、ホームページか、電話で確認してください。）

<連絡先> 図書館 Tel : 059-368-1733



### 学生寮

校内に、430名程度収容できる学寮（4棟）があり、無線LAN等が整備され、寮生は、恵まれた環境の中で勉学に励み、快適な共同生活を楽しんでいます。学寮は、友愛、協力、自立の精神を培い、技術者として必要な資質を養うための教育施設でもあります。そのために、教員が寮監として指導にあたり、規律ある生活ができるよう配慮されています。



### その他の施設

- ◆情報処理センター ◆実習センター ◆共同研究推進センター
- ◆青峰会館（学生食堂他） 他

○敷地面積 120,551平方メートル  
○建物延面積 39,393平方メートル



